

終わらせることがないよう継続的な海外プロモーションを展開し、本市へのインバウンド誘客をより確かなものに発展させ、地域経済の活性化につなげたい。

【質疑】タイを新たなターゲット国に加えた理由は。

【答弁】タイ市場は東南アジアで訪日者数が多く、リピート率が非常に高い。地方への宿泊率も東南アジアでは最も高く、地方へ向かう観光ニーズが高まっていると分析されていることや、仙台・バンコク間の定期直行便も冬ダイヤに再開される見通しで、交通アクセスの利便性が高まることとターゲット市場に加える大きな要因である。

また本年2月に本市の観光大使に就任した「佐藤三兄弟」はタイ政府の観光大使も務めていることから、佐藤三兄弟の協力も得ながら観光交流を発展させる取り組みも検討したいと考えている。

【質疑】壽丸屋敷門・板塀修繕工事の内容は。

【答弁】壽丸屋敷敷地内の門および板塀が、経年劣化による破損と倒壊の恐れがあることから、施設の景観と安全確保のため、門および板塀の修繕をするもの。

工期は当該施設の指定管理者である白石まちづくり株式会社と協議の上、年度内に完了するよう施工していく。

【質疑】壽丸屋敷門・板塀修繕工事期間中、貸館事業や観光客の見学はどのように対応するのか。

【答弁】工事期間中は可能な限り壽丸屋敷の利用を継続し、利用者への影響を最小限に抑えたいと考えている。利用者の安全を第一に、施工箇所の仕切りや案内表示を適切に設け、通行の妨げにならないよう安全確保に努めていく。

◎令和8年度白石市下水道事業会計補正予算(第1号)

【質疑】工事請負費880万円について、更新工事の内容は。

【答弁】農業集落排水事業越河地区の当該マンホールポンプは、処理場の西側、国道4号線付近に位置し、越河地区西側の広範囲の汚水を処理場に送るためのポンプである。

マンホール内に2台設置され、それぞれの負担を軽減し故障リスクを分散するため1台ずつ交互に運転する仕様で、そのうちの1台が故障したものの、2台のポンプとも設置から約20年が経過しており、故障の原因を確認したところ、故障した部品の修繕だけで対応できるものではなかったことから、今後も安定的な運用を行うため、同時に設置した2台のポンプを更新するもの。

◎財産の取得について

(仮称)道の駅しろいしの事業用地として取得するもの。

●取得物件(土地)

1万6534.76㎡

●取得の方法 随意契約

●取得予定価格

2億7244万6千円

●取得の相手方

白石市土地開発公社



意見書

定例会最終日(6月26日)、議員提案として意見書1件が上程され、全会一致で可決された。意見書は関係機関に提出された。

◎免税軽油制度の継続を求める意見書

免税軽油制度は、道路を走行しない機械等の動力源として使用する軽油について、本来課税される軽油引取税(1リットルあたり15円)を免除する制度であり、船舶、鉄道、農林、漁業、製造業など、幅広い事業の持続的発展を支える重要な施策である。

スキー産業においては、索道事業者が使用するゲレンデ整備車や降雪機などの動力源として欠かせないものであり、本制度が廃止されれば、索道事業者は大きな負担増を強いられることとなる。これは単に一事業者の経営維持が困難となるばかりではなく、地域の観光産業や周辺の経済活動に計り知れない悪影響を及ぼすことが危惧される。

よって、観光産業や農林水産業をはじめとする幅広い産業への影響に鑑み、免税軽油制度の継続について国に意見書を提出しようとするもの。